

6月の保育目標

＜年少組＞ ねらい：生活の流れがわかり、見通しを持って身の回りの事を自分でやろうとする

健康：着替えの仕方やボタンの付け外しを自分でしようとする

跳ぶ、しゃがむ、バランス感覚など運動遊びをしながら体の使い方を知り、
体力作りをする

人間関係：生活に必要な言葉がわかり「おはようございます」「さようなら」などの挨拶や名前を呼ばれたら返事をして周囲の人と関わる

環境：梅雨の季節を知る為、雨の日の様子（空、雨粒など）を観察し、晴れの日との違いに気付く（太陽、雲、気温、服装など）

言葉：保育者や友だちに対して自分の思いをしぐさや言葉で伝えようとする

表現：きれいな声で歌ったり、楽器を使って色々なリズム打ちで遊び、音楽を楽しむ
砂、泥、水に触れ、それぞれの感触を楽しむ

＜年中組＞ ねらい：遊びや行事に向けての活動に自ら興味・関心を持って楽しんで関わろうとする

健康：じわじわ感じる暑さに気付き、自ら衣服の着脱を調節したり、必要な時に水分を摂る また、汗もハンカチやタオルで細目に拭く

人間関係：活動や遊びの楽しさを通してお友だちの名前をしっかり覚え、一緒に遊ぶ楽しさを味わう

環境：栽培物の成長を喜びながら楽しんで、自ら世話や観察をする

言葉：平仮名や数字を学び始めると共に、日常でも絵本や時計、カレンダーなどで文字や数字に触れられる機会を持ち、興味を持つ

表現：梅雨期ならではの室内遊びを沢山取り入れ、体操を習慣づけたりサーキット遊びをするなど、体を動かすことを楽しむ

**<年長組> ねらい：当番活動に意欲を持って友だちと声をかけ合いながら
積極的に取り組もうとする**

健康：気候に合わせて衣服の調節をしたり、汗を拭き水分補給をしっかりとする

人間関係：良い事や悪い事がある事に気付き、相手の気持ちを考えて行動する

環境：保育室やトイレの使い方について（スリッパを揃える、水道をしっかりと閉めるなど）話し合いながら確認し、共有の場であることを意識して清潔に使えるようにする

言葉：友達同士で自分の思いを言葉にして伝え合い、思いが通じる喜びや伝える難しさを味わう

表現：音楽に合わせて体を動かしたり、楽器を叩いてリズムにのる楽しさを味わう
また、楽器の使い方も見直しきれいな音が出るように練習する

<コアラ> ねらい：保育者に親しみをもち、保育室のロッカーや机に自分のシールがある事に気付き、居場所を見つけ安心して登園する

健康：食事の前に手指をきれいにする習慣を身につける

人間関係：クラスの友だちや保育者に慣れ、一緒に過ごす時間を心地よく感じる

環境：雨の日の遊びを楽しみ雨の好きな植物や動物に気付き、絵本や図鑑に興味を持って見る

言葉：雨の音「ざあざあ」「ぽつぽつ」「しとしと」「ぽったん」等の言葉遊びを楽しむ

表現：手遊びや歌遊びをしながら手先、指先の動きを楽しむ

<つぼみ1> ねらい：保育者に見守られながら好きな遊びを楽しむ。
梅雨の時期を快適に過ごす。

健康：手を洗ったり、口を拭いたりしてきれいになることを喜ぶ。

スプーン・フォークに慣れ自分で使って食べようとする。

人間関係：出席調べで、自分の名前を呼ばれたら身振りや返事をし、友だちが呼ばれているときは静かに聞く。

環境：安全で過ごしやすい環境の中で歩行の発達を促しながら探索行動を充分に楽しむ。歩行が完成している子どもは行動範囲を広げる。

砂場で遊び、砂の感触や不思議さに興味を持ち、保育者と一緒に楽しむ。

雨の降る様子を眺める・雨音を聞く・水溜りの様子を見たりして雨に興味を持つ。

言葉：「どっちにする？」「したい？したくない？」などの意味がわかり、選びながら自分の気持ちを伝えられることの喜びを感じる。

表現：戸外に出られないときも室内で体操をしたり、体を動かす遊びを楽しむ。

<つぼみ2> ねらい：季節の移り変わりに気付きながら幼稚園生活を楽しむ。

健康：手洗い・洗った手を拭くこと、汗が出たら進んで拭くなどを丁寧に行い清潔を保つ。

排泄の感覚を感じるようになり、自分で行こうとする。

水分の補給をこまめに行い、体調不良を保育者に伝えられるようになる。

人間関係：生活や遊びの簡単な約束を覚え守ろうとする。（自分の物と友だちの物の違いがわかる・順番を守る。

環境：色に興味を持ち、色の名前を覚え、同じ色集めや色探しなどの遊びを楽しむ。

雨の降る様子を眺める・雨音を聞く・水溜りの様子を見る・雨はどこから降ってくるの？など雨に興味を持つ。

言葉：「自分です」「どうやったらいいの？」などの自分でしたい気持ちに寄り添いながら見守り自立心を育てる。

表現：自分の歌声や友だちの歌声を聴き一緒に歌う楽しさや大きな身振りをつけて全身でリズムを感じながら楽しんで歌う。